

2026年11月1日(日)

日本基督教団 大宮教会

大宮教会ビジョン

「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」
- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -
(マタイによる福音書 28 : 19~20)

降誕前節第8主日

聖徒の日

朝第1礼拝 9:00~10:10

朝第2礼拝 10:30~12:00

＜神の招き＞

前 奏 ①キリストよ、我らにみ顔を向け給え バッハ
②深き淵よりあなたを呼ぶ バッハ

招きの詞 詩編67:2~8

交読詩編 1:1~6

讃美歌 1

＜神の言葉＞

聖 書 申命記8:2~3
(旧約 聖書協会共同訳 278 頁)
ヘブライ人への手紙 1:1~3
(新約 聖書協会共同訳 392 頁)

祈 禱
讃 美 歌 50
信 仰 告 白 日本基督教団信仰告白
説 教 「信仰とは」(信仰告白①)
熊江秀一牧師

祈 禱
黙 美 歌 380
讃 美 歌 81

＜神への応答＞
献 金
主 の 祈 り
宣 教 報 告②
頌 栄 28
派遣と祝福
後 奏

①いざ喜べ、愛するキリスト者たちよ クレブス
②天にまいます我らの父よ バッハ
宣 教 報 告①

夕 礼 拝 18:00~19:10

＜神の招き＞

前 奏 神はかき 8 バッハ・レベレ

招きの詞 詩編67:2~8

交読詩編 1:1~6

讃美歌 162

＜神の言葉＞

聖 書 レビ記19:17~18
(旧約 聖書協会共同訳 179 頁)
ルカによる福音書 10:25~37
(新約 聖書協会共同訳 125 頁)

祈 禱
讃 美 歌 441
説 教 「隣人とは誰ですか」
佐藤潤伝道師

祈 禱
黙 美 歌 532
讃 美 歌 81

＜神への応答＞
信 仰 告 白 日本基督教団信仰告白
献 金
主 の 祈 り
宣 教 報 告
頌 栄 26
派遣と祝福
後 奏

神より我に離れじ ヴァルター

今週の御言葉

人はパンだけで生きるのではなく、人は主の口から出るすべての言葉によって生きるということを、あなたに知らせるためであった。(申命記8:3b)

次週の礼拝(11月8日)

① 9:00、② 10:30
説教「神の言葉である聖書」
熊江秀一牧師
出エジプト記34:29~35、
ルカによる福音書24:25~35
交読詩編105:1~11
讃美2、204、59、28

夕 18:00
説教「必要なことは一つだけ」
佐藤潤伝道師
詩編27:4~6、
ルカによる福音書10:38~42
交読詩編105:1~11
讃美歌58、355、483、26

■今週の祈禱課題■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
2. 熊本地震と東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
3. 聖徒の日の為に
4. バザーの為に
5. 地域会の為に
6. 牧師・伝道師の為に
7. 関連幼稚園(大宮・植竹・白百合)の為に
8. 世界にキリストの平和があるように
9. 病気の兄妹の為に

*関東教区お祈りカレンダー 神の愛キリスト伝道所 常陸大宮伝道所 守谷伝道所

この手紙は、大きく二つに分けられる。前半の 1～3 章では、キリストの十字架の死と復活によって罪を赦され、神と和解し、神の家族とされた救いの事実が語られている。救いとは、罪の支配から解放され、神のご支配、すなわち神の国に生きること。後半の 4 章以降では、この救いに与った信仰者の生活について、「キリストの香りに生きる」といった勧めが語られていた。その土台にあるのは、キリストによる救いの恵みである。しかし現実には、人間関係の破れや病氣、死への恐れなどに直面し、信仰が揺らぐことがある。ここに信仰の戦いがある。

キリストの十字架によって悪魔はすでに敗北しているが、神の国が完全に完成するのは、主イエスの再臨の日。私たちは「すでに」救いにあずかりながらも、「いまだ」悪の働きが残る時を生きている。そのため、信仰生活は単に平穏に過ごすことではなく、神への信頼を揺るがそうとする悪魔の策略に立ち向かい、信仰に立ち続ける戦いである。

私たちは自分の努力だけでは罪に打ち勝つことはできない。だからこそ、「主にあつて、その偉大な力によって強くなりなさい」と勧められている。キリストの十字架によって与えられた救いの恵みに依り頼むことが大切である。そのために「神の武具」を身に着け、悪魔の誘惑や偽りに抵抗する。その武具を実際に生かすために「霊によって絶えず祈る」ことが必要である。祈りは自分のためだけでなく、すべての信仰者のためにも捧げられる。

キリストも苦難の中で祈り、十字架の死に至るまで信仰の戦いを続けられた。その先に復活の栄光がある。主に従うとは、この栄光に向けて歩み続けること。日々悔い改めて神に立ち帰り、互いに支え合いつつ、福音を宣べ伝えていく。主の偉大な力に支えられ、神の国が完成する日まで、共に信仰に立ち続けていく、そこに私たちの信仰生活がある。

礼拝中、起立がご無理な方は、着席のままどうぞ。○は祈禱当番の方。*①は朝第 1 礼拝、②は朝第 2 礼拝、㊦は夕礼拝。